
転生コンピ(帰還)

神童サーガ

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

転生コンビ（帰還）

【Nコード】

N4345F

【作者名】

神童サーガ

【あらすじ】

いつの間にか異世界にいた二人。しかも、性別が入れ替わってしまってる！！さあ、これからどうなる！？

一人の少女が、荒野でボケーとしてる。

「なあ・・・本当にここであってんのか？」

乱暴な口調で女の子は、後ろにいる人物に聞く。

「ん。ここだよ。」

のんびりとした口調で話す男の子。

「慧・・・スイー!!」

「あ、ごめん。ボーツとしてたあ・・・稔・・・ナル？」

女の子はスイで、男の子はナルみたいだ。

「この洞窟にオレ達が来た理由があるんだよね？」

「知らない」

呑気に答えるナルにキレそうになったスイ。

「流石に、このままじゃ嫌なんだが・・・」

「そうだねえ。僕も戻りたい」

この二人は、異世界から来たのだ。
しかも悲しいことに、二人の性別が変わったのだ。
身体が入れ替わったわけでは無い。

「戻ったら、ナルはどうすんだ？」

「学校行かなきゃねえ・・・僕達は幼馴染のままで」

理解に悩む発言をするナル。

「もし身体が戻らなかったら？」

「僕がスイをお嫁に貰ってあげるよ」

赤くなつて怒り出したスイ。
元はといえども、男としてのプライドがあるのだろう。

ナルは、どうでも良いという雰囲気だ。
今更ながら、二人の性格を説明しよう。

スイは、不良だったので口は悪いし、ケンカが強い。少し我が儘っぽい、常識人なのでツツコミ。

ナルは、天然でフニャつとしてる。でも、ギャップで腹黒い部分を持つてゐる。でも、何かズレてるからボケ。

「僕は、このままが良いなあ」

「嫌だ！！なんかハズい」

いきなり女の子の身体になれば、誰だって動揺するだろう。
ナルは、ポケーッとしてるから何も思つて無い。

「戻ったらデートしよう？」

「は・・・」

ナルの言葉に照れながら、顔を背けるスイ。

「好きだよ〜スイ」

「最悪・・・昔から・・・苛めるよなオレを・・・」

実は、男の身体になったから、スイをからかえるのが、とても楽しいナル。

「性格悪過ぎ・・・アホ」

「でも、女の子になってから弱くなったよね？スイちゃん」

「ふっざけんな!!」

キレて殴り掛かろうとしたけど、避けて、洞窟の奥に入って行った。

待てー、と追いかけたスイ。

「僕としては、この世界も楽しいけど」

「ハチャメチャだろ!!羊がガルルと鳴いたり、虎が、コケつと鳴いたり、人間がメイド服着てんだぞ!!全員」

変な世界に来てしまったようだ。今までの知識が無駄に終わる世界だったらしい。

「もし……戻っても僕と仲良くしてね」

「バカ……オレがいなかったら、いじめられてんだろ……お前」

行き止まりに着いた途端に、スイの手を握り締めて弱々しく言ったナル。

「うん……このままだったら自信があるのにな」

「オレが、殺られるって」

「弱くは無いでしょ」

やっと笑顔になったナル。

「オレが負けるわけねーよ」

「頼もしい」

「それよりも、引き籠もるなよ？」

分らない、と言ったナルに、苦笑いしたスイ。

『汝らの望むもの如何なるものだ？』

ズシツと響く声が、洞窟内を木霊する。

「望むことは、ただ一つ」

「元の世界に帰ること」

『その願い叶えたり』

その言葉を最後に、二人は光に包まれた。
その場に、誰も残って無い。
ただ、低い笑い声が響いたのみだった。

「何でだよー！！」

「あはは・・・はあ」

二人の容姿は変わって無かった。

性別が変わったままだった。

「くそっ・・・オレは、一生女なのかよ・・・」

「僕は男か・・・僕の嫁になる？スイ」

「ざけんなー!!」

頭を抱えたスイ。なぜ、こんなことになったのか？

「アレだね。願い一つだけって言ったから」

「待て、ナルも元の世界に帰ることって、それだけじゃねーか!!」

結局、二人の責任というわけだ。

「なんでだよ・・・」

「とりあえず帰ろっか」

「みんなに、どう言えば良いんだよ」

落ち込んだスイを見て笑ってるナル。
いつか、彼らの日常を語る日はくるのだろうか。

というよりも、カレで合ってるのか？
似合ってるから、良いんじゃないかという楽観的な考えもあります。

（後書き）

日常とかも書けたら面白いかな・・・その後みたいにな。取り敢えずは考えて無いですが。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n4345f/>

転生コンビ(帰還)

2010年11月4日02時38分発行